



2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所 東
 コード番号 3747 URL <https://www.itrade.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 一也
 問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 (氏名) 小笠原 功二 (TEL) 03-4540-3002
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	1,411	△1.9	107	△18.0	△40	—	△17	—
2022年9月期第3四半期	1,438	△8.1	131	18.3	△0	—	93	△0.2

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 △22百万円(—%) 2022年9月期第3四半期 94百万円(△1.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	△2.38	—
2022年9月期第3四半期	13.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	1,621	1,272	78.1
2022年9月期	1,609	1,294	79.7

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 1,265百万円 2022年9月期 1,282百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	0.00	—		
2023年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300	11.8	220	△8.8	50	△20.2	35	△79.8	4.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期3Q	7,444,800株	2022年9月期	7,444,800株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	259,200株	2022年9月期	259,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期3Q	7,185,600株	2022年9月期3Q	7,185,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業セグメントは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム、暗号資産プラットフォーム等の開発及び保守を中心とする「金融ソリューション事業」、ITサポート及びグループ経営管理ソリューションシステムの開発及び販売を中心とする「ビジネスソリューション事業」、機能的食材であるハナピラタケの健康食品や化粧品等の開発及び販売を行う「ヘルスケア事業」の3つです。

前第3四半期連結累計期間（以下、前第3四半期）及び、当第3四半期連結累計期間（以下、当第3四半期）の当社グループの連結経営成績は次の表のとおりです。

	2022年9月期 (前第3四半期)		2023年9月期 (当第3四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	1,438	100.0	1,411	100.0	98.1
金融ソリューション事業	1,173	81.6	1,136	80.5	96.9
ビジネスソリューション事業	159	11.1	171	12.2	107.7
ヘルスケア事業	105	7.3	103	7.3	97.9
営業利益	131	—	107	—	82.0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	93	—	△17	—	—

(注) 各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

当第3四半期の業績は、ビジネスソリューション事業で増収となったものの、主力の金融ソリューション事業やヘルスケア事業の減収により、売上高は前年同期に比べ26百万円減少し1,411百万円となりました。また、利益面では減収の影響により、営業利益は前年同期131百万円から107百万円の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、持分法適用関連会社である株式会社デジタルアセットマーケティングの持分法による投資損失147百万円を計上し、持分変動利益の計上額が前年同期よりも減少したため、17百万円となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

なお、各事業の売上高には、セグメント間の内部取引を含んでいません。

(金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業は、当社の事業です。

当第3四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	1,136百万円 (前年同期比 96.9%)
セグメント利益	370百万円 (前年同期比 92.4%)

当第3四半期においては、売上高は1,136百万円と前年同期比96.9%の減収、セグメント利益は、減収の影響により前年同期比92.4%の370百万円となりました。

前年同期に比べ、月額安定収益であるライセンス収入やソフトウェア保守による売上は増加しているものの、一時売上である新規導入案件や受託開発案件が減少しました。現在、証券会社向けデジタル証券売買システム等、DX化への対応に向けての研究開発に着手しております。

DX化の流れは当社にとって大きなビジネスチャンスではありますが、金融業界のDX化は、セキュリティを最優先する必要があるため、他の業界よりも遅れていると捉えております。DX化への対応を実現させる人材、堅牢なシステムを提供し高付加価値サービスを展開していくため、社内体制の強化を図っております。

(ビジネスソリューション事業)

ビジネスソリューション事業は、当社及び株式会社ビーエス・ジェイの事業です。

当第3四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	171百万円 (前年同期比 107.7%)
-----	-----------------------

セグメント損失 20百万円（前年同期は14百万円のセグメント損失）

S I サービスにおいて新規取引先へのサービス提供により、売上高は前年同期比107.7%の171百万円となりました。損益面では、増収となったものの、固定費の増加により、前年同期14百万円のセグメント損失から、20百万円のセグメント損失と若干悪化しました。

（ヘルスケア事業）

ヘルスケア事業は当社及び株式会社インタートレードヘルスケアの事業です。

当第3四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 103百万円（前年同期比 97.9%）
セグメント損失 33百万円（前年同期は34百万円のセグメント損失）

当第3四半期の売上高は前年同期比97.9%の103百万円と減収となりました。損益面に関しては、継続した経費削減効果により、セグメント損失は33百万円となり前年同期34百万円のセグメント損失より若干改善しております。

『ITはなびらたけ』の機能性表示食品の取得が期初計画よりも遅れが出ているものの、当期中の取得を目指し最終局面を迎えております。新製品発売の遅れを原料販売、OEM商品で補うべく営業活動に注力しておりますが、エネルギー価格の高騰等により、工場閉鎖等による生産ラインの確保が難しく、受注から納品までのリードタイムが長くなっており、販売計画に遅れが出ております。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産額（負債純資産合計額）は、前連結会計年度末に比べ11百万円増加し、1,621百万円となりました。自己資本比率は78.1%、当座比率（当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標）は469.1%となっています。

（資産）

資産合計1,621百万円の主な内訳は、現金及び預金1,053百万円（構成比65.0%）、受取手形、売掛金及び契約資産168百万円（構成比10.4%）、棚卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）57百万円（構成比3.5%）、投資有価証券104百万円（構成比6.4%）となっています。

前連結会計年度末の資産合計1,609百万円より11百万円増加しており、その主な増減要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が111百万円減少しているものの、現金及び預金が196百万円増加していることによるものです。

（負債）

負債合計348百万円の主な内訳は、短期借入金100百万円（負債純資産合計に対する構成比6.2%）、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金計91百万円（負債純資産合計に対する構成比5.6%）、買掛金57百万円（負債純資産合計に対する構成比3.6%）となっています。

前連結会計年度末の負債合計315百万円より33百万円増加しており、その主な増減要因は、買掛金の減少10百万円、未払法人税等の減少16百万円があるものの、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金計が、91百万円増加したことによるものです。

（純資産）

純資産合計1,272百万円の内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金996百万円、利益剰余金△1,114百万円、自己株式△95百万円、非支配株主持分6百万円となっています。

前連結会計年度末の純資産合計1,294百万円より22百万円減少しており、その主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失による利益剰余金の減少17百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは金融市場の動向の影響を受ける事業環境にあります。現時点では2022年9月期決算短信記載の連結業績予想で想定したとおりに進捗しており、連結業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	857,483	1,053,961
受取手形、売掛金及び契約資産	280,360	168,415
商品及び製品	10,169	8,899
仕掛品	7,821	43,450
原材料及び貯蔵品	5,555	5,000
その他	56,498	60,321
貸倒引当金	△256	△256
流動資産合計	1,217,633	1,339,791
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,970	4,061
工具、器具及び備品（純額）	17,596	19,167
リース資産（純額）	22,405	13,923
有形固定資産合計	44,972	37,153
無形固定資産		
ソフトウェア	6,961	4,264
その他	364	364
無形固定資産合計	7,325	4,628
投資その他の資産		
投資有価証券	202,016	104,137
繰延税金資産	9,050	6,844
敷金及び保証金	124,370	124,370
その他	16,232	16,081
貸倒引当金	△11,851	△11,851
投資その他の資産合計	339,818	239,581
固定資産合計	392,116	281,363
資産合計	1,609,749	1,621,154

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	67,791	57,718
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	-	20,040
リース債務	16,263	8,718
未払法人税等	28,689	12,245
契約負債	25,381	24,254
その他	57,605	37,584
流動負債合計	295,733	260,561
固定負債		
長期借入金	-	71,610
リース債務	9,284	6,964
退職給付に係る負債	9,132	9,722
その他	1,056	66
固定負債合計	19,472	88,363
負債合計	315,205	348,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,433	1,478,433
資本剰余金	996,567	996,567
利益剰余金	△1,097,425	△1,114,542
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	1,282,544	1,265,426
新株予約権	742	697
非支配株主持分	11,257	6,105
純資産合計	1,294,543	1,272,229
負債純資産合計	1,609,749	1,621,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,438,608	1,411,741
売上原価	904,690	922,923
売上総利益	533,918	488,818
販売費及び一般管理費	402,550	381,154
営業利益	131,368	107,663
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	1	0
雑収入	165	235
その他	65	-
営業外収益合計	235	240
営業外費用		
支払利息	955	1,231
持分法による投資損失	130,937	147,309
その他	20	1
営業外費用合計	131,913	148,542
経常損失(△)	△309	△40,638
特別利益		
持分変動利益	118,167	42,223
新株予約権戻入益	-	45
固定資産売却益	-	100
特別利益合計	118,167	42,368
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益	117,858	1,730
法人税、住民税及び事業税	22,295	21,793
法人税等調整額	1,336	2,206
法人税等合計	23,632	23,999
四半期純利益又は四半期純損失(△)	94,226	△22,269
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	617	△5,152
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	93,608	△17,117

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	94,226	△22,269
四半期包括利益	94,226	△22,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,608	△17,117
非支配株主に係る四半期包括利益	617	△5,152

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,173,434	159,287	105,886	1,438,608	—	1,438,608
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	56	56	△56	—
計	1,173,434	159,287	105,942	1,438,665	△56	1,438,608
セグメント利益又は損失 (△)	401,026	△14,692	△34,313	352,020	△220,651	131,368

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△220,651千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,136,485	171,551	103,704	1,411,741	—	1,411,741
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	14	14	△14	—
計	1,136,485	171,551	103,719	1,411,755	△14	1,411,741
セグメント利益又は損失 (△)	370,399	△20,243	△33,581	316,574	△208,910	107,663

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△208,910千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。